

2021年7月11日(28週目) 主日礼拝

「強大国宣教の使命」(ヨナ 3:1-6)

北イスラエルは、偶像をしていたので、災いが多かった。それは偶然ではなくて、神様の裁きとして下したものであった。偶像崇拜から立ち返るために、使命を与えられた。ヨナが生きていた時代は、北イスラエルのヤロブアム2世の時代であった。北イスラエルの中で、ヨナを召されて、アッシリヤのニネベで福音を伝えた。私達が伝道・宣教に行く時に、災いが終わるようになる。災害がある地域は、偶像崇拜が深刻な地域である。私達が、伝道・宣教をしていく時に災いを止まるようになる。

1.強大国宣教は神さまの計画	2.方法	3.答え
<p>▲強大国に行って、伝道・宣教をする中に大きな答えがある。神様は強大国にいて伝道することを望む。</p> <p>○神様の目的は、神の国をつくるためである。神様の願いは、強い人を通して福音化することである。</p> <p>○強大国や貴族等の強い人たちを伝道するべきである。</p> <p>1)ヨナ 1:2(あの大きな町ニネベに行き、これに向かって叫べ。彼らの悪がわたしの前に上って来たからだ。)</p> <p>(1)神様は、ヨナにニネベへ行きなさいと言われた。</p> <p>(2)ニネベは、アッシリヤの首都である。</p> <p>(3)神様はニネベの悪が、横行しているのを見た。一福音が弱くなる時に様々な問題が起こる。</p> <p>(4)アッシリヤ(ニネベ)の人を伝道する事が神の御心。一強大国を伝道することが神様の御心である。</p> <p>(5)自分よりも成功した人に伝道する事に抵抗感</p> <p>一自分より成功した人への妬みのため</p> <p>一ヨナの場合、ニネベの国は、周辺国への悪事を働いていたのでニネベの国を好きではなかったため。</p> <p>一ヨナはその理由からニネベの伝道をしたくなかった</p> <p>2)ヨナ 3:1-2(「立って、あの大きな町ニネベに行き、わたしがあなたに告げることばを伝えよ。」)</p> <p>(1)ヨナは、一度宣教を拒み、他の船に乗ったが、暴風にあい、海に投げ込まれた。</p> <p>(2)海の中で、ヨナは、魚に飲み込まれた。</p> <p>(3)大きな魚は、ニネベでヨナを吐き出した。</p> <p>一もう一度、ニネベに行って宣教するようにされた。</p> <p>(4)神様は大きな町ニネベを伝道することを計画した。</p> <p>一神様は、神の計画を無理強いさせてでもやらせる。</p> <p>3)使 19:21(「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。)</p> <p>(1)パウロの時代には、強大国のローマを宣教させた。</p> <p>(2)神様は強大国の日本を生かすことを望んでいる。</p> <p>(3)日本をキリスト教国家にするためには、自分よりも更に影響力のある人達を伝道するべきである。</p> <p>一高い地位の人を宣教する時に多くの答えを下さる。</p>	<p>▲私達はどのように強い人を伝道すればよいのか。神様が全て用意をして下さり、伝道、宣教を出来るようにして下さっている。</p> <p>1)救い</p> <p>(1)真の王—サタン—の奴隷であった私達を解放(出エジプト記)。</p> <p>(2)真の祭司—キリスト—の血潮によって罪を赦した(レビ記)。</p> <p>(3)真の預言者—救われた民が聖霊が宿り伝道者になる(民数記)。</p> <p>2)ヨハ 15:4-5(わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。)</p> <p>(1)ぶどうの木の枝は細く出来ている。</p> <p>(2)ぶどうの木の栽培の時は副え木をして枝を支える。</p> <p>一聖霊が一つになってキリストと一つになるようにした。</p> <p>(3)自分自身をみるのではなくキリストと繋がっている私を見る。</p> <p>(4)私達はキリストと共に死に、復活して天の右の座についている。</p> <p>(5)キリストに繋がっている自分をわかると、権力者の人々を哀れに思うようになり伝道しようとする。</p> <p>(6)自分より強い人を愛する心は、神様の愛がなければ出来ない。</p> <p>3)使 1:8(聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。)</p> <p>・聖霊充滿に満たされ5つの力(霊力,知力,体力,人力、経済力)。</p> <p>4)ヨハ 20:21(父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。)</p> <p>・神様が、キリストを遣わしたようにキリストが私達を遣わした</p> <p>・キリストの代わりに私が、自分の現場に遣わされた。</p> <p>・神様の命令の中で、強い強大国、権力者に伝道していく。</p> <p>5)ルカ 24:46-47(キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。)</p> <p>・福音を信じることによって救われる(罪が赦される)。</p> <p>6)I ペテ 2:9(あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。)</p> <p>・私達はキリストと一つになり王,祭司,預言者の務めを果たす者。</p> <p>7)マタイ 28:18-20(あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とみなさい。)</p> <p>・キリストの素晴らしい恵みで福音を伝えるように。</p>	<p>▲神の方法の中にいる時に大きな答えを下さる</p> <p>1)ヨナ 1:17(主は大きな魚を備えて、ヨナをのみこませた。ヨナは三日三晩、魚の腹の中にいた。)</p> <p>(1)神様は、ヨナのために大きな魚を備えた。</p> <p>一強大国・身分の高い人に宣教をするため</p> <p>(2)神様の絶対目的の為に出来るようにする。</p> <p>(3)身分の高い人に福音を伝える為,力を下さる</p> <p>2)ヨナ 3:5-6(ニネベの人々は神を信じ、断食を呼びかけ、身分の高い者から低い者まで荒布を着た。このことがニネベの王の耳に入ると、彼は王座から立って、王服を脱ぎ、荒布をまとい、灰の中にすわった。)</p> <p>(1)ヨナが、1日だけ、しょうがない気持ちで伝道したが、多くの人たちが悔い改めた。</p> <p>一神様が働いて多くの人々が神様を信じた。</p> <p>(2)身分の高い人程,様々な問題で苦しんでいる</p> <p>(3)主は災いを起こす事を思い直す(ヨ 3:10)</p> <p>一神様は、憐れみ深く、情け深い方(ヨナ 4:11)</p> <p>3)使 27:24(「恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。)</p> <p>(1)パウロ達の一行が暴風に合う。</p> <p>(2)カイザル(皇帝)に伝道する為に守られた。</p> <p>(3)マルタ島で毒蛇にかまれたが死ななかった</p> <p>一強大国,強い人を伝道しようとする守られる</p> <p>(4)会社の上司、トップを生かせるように。</p> <p>(5)災いは強大国宣教の使命がない時に起こる</p> <p>▲結論</p> <p>(1)日本の救いか滅びかは私達にかかっている</p> <p>(2)自分より身分の高い人が救われるように。</p> <p>(3)自分の弱さはキリストと共に死んだ。</p> <p>一キリストの体に変えられたのが私達である。</p> <p>(4)日本をキリスト教国家にしようとする使命</p> <p>一奇跡的な答えが続くようになる。</p>

## 現場地教会(2021年7月11日～2021年7月17日)

### 【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ  
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
- 2) イエスわが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ  
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

### 【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 【メッセージ】 「強大国宣教の使命」(ヨナ 3:1-6)

### 【讚美】 255 シオンよ急ぎ伝えよ

### 【祈り】

#### ①教会の祈りの課題

1. 全聖徒が御座の祝福を味わう霊的見張り人となり、福音と祈りでミッションを掴み、日本と237に働く暗闇と霊的戦いができますように。
  2. 全聖徒が霊的医者となり、霊的な病で死んでいく日本と237を、御言葉と祈りで癒すことができますように。
  3. 全聖徒がキリストの霊的サミット大使となり、日本と237のサミットを原色福音で生かして育て、キリストの福音を伝えることによって、日本をキリスト教国家にできますように。  
※御国イザヤ牧師に聖霊充満と5つの力が与えられるように。
- ②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。  
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

### 【フォーラム・祈り】

### 【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

### 福音宣教教会 祈り題

1. 福音宣教教会(ローマ 16:20、25-27)
2. 主任牧師(使徒 6:4、アモ 3:7、創世記 18:17)
3. レムナント(イザヤ 6:13)
4. 癒し(使徒 19:8-20)
5. 日本神学校、東日本神学校(Ⅱ列 6:8-23)
6. 200 都市(創世記 41:36-38)
7. 1000 大学(使徒 19:9-10)
8. 日本総会教会(使徒 6:4、コロ 4:2-3)
9. 日本 8000 教会(使徒 17:1-3)
10. 本部、柳牧師(138、14、24、25、00、237)
11. 日本をキリスト教国家とする(使徒 18:9-10)
12. 237 宣教、太平洋・インド洋宣教(マタ 24:14、使徒 1:8)

### 契約の祈り (主日礼拝)

1. 強大国宣教は神様の計画だと信じて、現場のトップに伝道し、サミットの前に立つレムナント運動をするとき、日本がキリスト教国家になり、強大国宣教の答えを受けることを感謝します。
2. 強い人に伝道することは自分の力では不可能ですが、王なるキリストと一つになった結合を味わって聖霊充満を受けるとき、自分の弱さは消え、強い人を弟子にする答えを受けると信じます。
3. 強大国宣教の使命を掴んで、サタンの奴隷になって隠れた問題に苦しんでいる強い人々を救い出し、多くの人々を救い出す霊的サミット大使の答えを受けますように。

### お知らせ

1. 世界レムナント大会 8月3日～5日
2. リーダー修練会  
1次：7月28日9時、7月29日18時
3. 日本伝道集会：オンラインリアルタイム生放送  
第1講義：9月23日(木)10:00、2講義：同日11:00

## 福音宣教教会

主管牧師：御国イザヤ

名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003

主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00